11月4日16:00（中央ヨーロッパ時間）まで報道禁止

世界のスポーツ用品業界が結束し、次世代の身体活動促進を支援

世界保健機関（WHO）の最新データによると、青少年の86%が依然として推奨される身体活動レベルに達していないことが明らかになったことを受け、世界をリードするスポーツ用品企業が、次世代の身体活動促進を支援することを約束した。

2026年11月4日、ベルン発 — 84のスポーツ用品企業および連盟が、世界スポーツ用品産業連盟（WFSGI）が調整した公開書簡に署名し、より多くの若者がスポーツ、身体活動、そして動きを通じて生涯にわたる恩恵を享受できるよう、取り組みを強化することを約束しました。

この書簡は、世界保健機関（WHO）が本日『*ランセット*』*誌*で発表した新たな世界的な身体活動データを受けて作成されたもので、世界中の若者が直面している課題の規模を浮き彫りにしている。調査結果によると、青少年の86%が推奨される活動レベルを満たしておらず、約4人に1人（11歳から17歳の2億4000万人）が、通常の1週間で全く活動的な日がないと報告している。 世界のあらゆる地域において、女子は男子に比べて依然として身体活動量が少ない。身体活動の不足が、世界の死亡原因の75%を占める非感染性疾患の主要なリスク要因であるという事実を踏まえると、若者がスポーツ、身体活動、運動を楽しむ習慣を身につけられるよう支援することが極めて重要である。

署名企業には、アディダス、アシックス、バウアー、デカトロン、ニューバランス、ナイキなどが名を連ね、世界中のスポーツ用品バリューチェーンに属する計84のスポーツ用品協会、メーカー、ブランド、小売業者が参加しています。

共通の課題に対する業界一丸となった対応

この公開書簡は、スポーツ用品業界全体で、障壁を取り除き、若者が身体活動に参加しやすくすることが、公衆衛生だけでなく、スポーツそのものの未来にとっても不可欠であるという認識が高まっていることを反映しています。

この書簡に署名した企業は、業界が草の根プログラム、地域社会での取り組み、アスリートのスポンサーシップ、参加促進キャンペーンに投資している一方で、WHOの最新の調査結果が示すように、特に運動量が最も少ない若者に働きかけ、根強い参加格差を解消するためには、より意図的な共同行動が必要であることを認識している。

単独の企業ではこの傾向を逆転させることはできませんが、スポーツ用品業界は、大規模な動きを喚起し実現するためのリーチ、影響力、信頼性を兼ね備えており、この対応を主導する上で他に類を見ない立場にあります。WFSGIがオリバー・ワイマンと共同で作成した新たな経済効果報告書『*The Industry That Moves the World*』によると、このセクターは年間約6,750億ドルの収益を生み出し、世界中で2,800万人の雇用を支えています。

*「私たちの最大の競争相手は『不活動』であり、最大の機会は『参加』です」*と、**WFSGIの最高経営責任者（CEO）であるエマ・ズウィーブラー氏は**述べた。*「WHOの最新データは、私たちが黙って見過ごせない理由を示しています。業界として、私たちは変化を推進するためのリーチ、専門知識、そして機会を持っています。この書簡は、『』スポーツ・エコシステム内外の官民パートナーと協力して取り組むという決意の表れです。政府、産業界、社会が、より健康で活動的な国民の育成を真剣に考えているのであれば、若者、とりわけ最も活動量の少ない若者たちが、体を動かし、遊び、健やかに成長する機会を得られるよう支援することにも、同様に真剣に取り組むべきです。」*

デカトロンCEOのハビエル・ロペス氏は次のように説明しています。*「WHOの最新の調査結果は、若者の運動不足に対する対策を加速させる緊急性を改めて裏付けています。デカトロンでは、運動やアクティブなライフスタイルを妨げる障壁を理解し、その解消に取り組むことに継続的に尽力しています。若者のウェルビーイングを確保することは、すべての子供やティーンエイジャーがスポーツがもたらす生涯にわたる恩恵を享受できるよう、セクターを超えた協力を必要とする、私たち全員の責任です。」*

4つの共通の取り組み

この公開書簡を通じて、署名者は以下の事項を約束します：

1. 若者の参加を促進し、ジェンダー格差を解消し、最も活動量の少ない青少年にも働きかける取り組みを実施すること。
2. スポーツ用品業界内外の連携を通じて、ベストプラクティスやエビデンスに基づく解決策を共有する。
3. 青少年の身体活動を形作るシステムや環境を変革できる、グローバル、地域、各国のステークホルダーと連携して取り組む。
4. 政府との連携を強化し、健康、教育、スポーツ、貿易、都市計画の各政策間の連携強化を提唱する。

これらの取り組みは、業界、政府、学校、医療専門家、スポーツ団体間の連携を強化することを目的としています。私たちは、すべての若者が、安全で、手頃な価格で、楽しめる身体活動、スポーツ、運動の機会に公平にアクセスできるよう支援していきます。

次世代を動かすために業界リーダーが連携

ヴァネッサ・ガルシア＝ブリト（NIKE, Inc. 副社長兼チーフ・インパクト・オフィサー）
――「WHOの新たなデータは、世界中のあまりにも多くの若者が、健やかに成長するために必要な身体活動を得られていないという事実を改めて突きつけています。特に、活動的な日を全く持たない割合は女子の方が男子よりも高く、これは私たちの業界も認識している問題であり、WFSGIの仲間たちと共にその改善に取り組んでいます。スポーツや遊びを誰もがより手軽に利用でき、より楽しく、より親しみやすいものにするために、今こそ緊急に行動を起こす必要があります。ナイキでは、従業員、アスリート、地域団体、専門家、コーチと協力し、誰もが参加しやすく、楽しく、包摂的で、すべての若者、特に少女たちが『ここに居場所がある』と感じられるような、ユーススポーツの未来を築いています。」 ヴァネッサ・ガルシア＝ブリト、NIKE, Inc. 副社長兼チーフ・インパクト・オフィサー

ゲイリー・ラウチャー、ASICS グローバル・マーケティング責任者兼執行役員 – *「当社の『Movement Conservation Report』は、現代の生活がどのようにして日常から『動き』を静かに排除しつつあるかを示しています。　本日発表されたWHOの『青少年の身体活動不足に関するデータ』は、この問題が特に若者に深刻な影響を与えていることを示しています。身体活動は、身体だけでなく心にとっても不可欠であり、この信念こそが75年以上にわたりアシックスを導いてきました。しかし、この課題を単一のブランドだけで解決することはできません。だからこそ、アシックスはこの問題に対し、業界と連携して取り組んでいくのです。」*

バウアー・ホッケー（Bauer Hockey）のCMO、メアリー・ケイ・メシエ氏は次のように述べています。 *「スポーツは健康、自信、友情、そして永続的な帰属意識を育みます。若者の活動量の減少には、早急な対策が求められています。バウアーは長年にわたり、 の地域リーダーたちと協力し、より多くの子供たちをホッケーに迎え入れてきました。WFSGIを通じて、業界全体の影響力とリソースを結集し、障壁を取り除き、プレーする機会をさらに創出していきます。　バウアーが創業100周年を迎えるにあたり、『遊び』の力は、私たちのあらゆる活動の中心となるでしょう。」*

WHO報告書：機会を逃している世代

WHOの分析は、140の国と地域で実施された389件の一般人口調査のデータに基づいており、11歳から17歳の青少年320万人以上を対象としています。

世界的に見て、4人に1人の青少年が「過去1週間、運動をした日がない」と報告しており、これは世界中で約2億4,000万人の若者に相当します。この新たなデータは、2016年に青少年の81%が推奨される活動目標を達成していなかったと報告していた従来の世界的な推計を上回るものです。

女子の格差解消

この新しいデータは、すべての地域において、スポーツや身体活動への参加に根強いジェンダー格差が存在することを浮き彫りにしている。女子の28%が、通常の1週間で身体活動を行った日が1日もなかったと報告したのに対し、男子では22%であった。

参加の障壁は少女によって異なることが多いことを認識し、署名団体は、用具へのアクセス、安全な場所の確保、指導、学校を基盤としたプログラムなどを通じて、より多くの少女がスポーツや身体活動に関わり続けられるよう、知見を共有し、アプローチを模索することを約束した。

今後の展開

この公開書簡は、メーカー、ブランド、小売業者など、スポーツ用品のバリューチェーンに関わる企業からの賛同を引き続き受け付けています。

このイニシアチブへの支援に関心のある企業は、WFSGIの身体活動部門責任者であるキャロライン・ブルックス（cbrooks@wfsgi.org　）までご連絡ください。目標は単純明快です。より多くの組織が力を合わせ、次世代がスポーツ、身体活動、そして動きを通じて生涯にわたる恩恵を享受できるあらゆる機会を確実に得られるようにすることです。

公開書簡の全文および84の署名団体一覧は、こちらからご覧いただけます。

##以上##

編集者向け注記

- 青少年の身体活動に関するデータは、世界保健機関（WHO）および2026年11月4日発行の『ランセット』誌によるものです。以下の2つのリンクをご参照ください：
- Strain T, Flaxman SR, Ricardo LIC, Guthold R, Riley LM, Cowan M, et al. 2010年から2025年における青少年の身体活動の国別、地域別、および世界的な傾向：140カ国、389件の調査（参加者320万人）の統合分析。『ランセット・グローバル・ヘルス』。2026; https://doi.org/10.1016/j.langlo.2026.104099
- WHO報告書：『取り残された世代：青少年の身体活動に関する世界的な傾向、2010年～2025年』。ジュネーブ：世界保健機関；2026年。https://doi.org/10.2471/B09945
- 業界の数値は、『*The Industry That Moves the World*』（WFSGIおよびオリバー・ワイマン、2026年9月）による。economic-report.pdf
- 公開書簡、署名者リスト、および発表用ビジュアルは以下からご覧いただけます：https://wfsgi.org/news-events/open-letter-youth-inactivity/　報道解禁日時：2026年11月4日 16:00（中央ヨーロッパ時間）
- 取材対応可能な広報担当者：エマ・ズウィーブラー（WFSGI　CEO）、ゲイリー・ラウチャー（ASICS グローバル・マーケティング責任者兼執行役員）
- WFSGIはSGI Europeと共同で、11月12日に「政策、参加、繁栄：スポーツ用品業界が重要な理由」と題したウェビナーを開催し、WHOが発表した新たな若年層の身体活動不足に関するデータについて議論します。こちらからご登録ください。

WFSGIについて

世界スポーツ用品産業連盟（WFSGI）は、スポーツ用品業界を代表する世界的な連盟です。ブランド、メーカー、小売業者を含む150社以上の加盟企業が、世界のスポーツ用品売上高の約70%を占めています。 WFSGIは、貿易や持続可能性から身体活動に至るまで、業界の未来を形作る優先課題について、業界を一つにまとめ、方針を統一し、提言を行い、行動を起こしています。また、世界保健機関（WHO）と「公式関係」の地位を有する唯一の非公的セクター組織です。

メディアお問い合わせ先

リンダ・マーフィー（WFSGI コミュニケーション責任者）：lmurphy@wfsgi.org